

書家 石川九楊の全書業を一堂に 大規模・連続・展覧会  
「石川九楊大全」、6月8日（土）上野の森美術館で開幕  
～選びぬかれた300点の作品を2つの展覧会で展示、音楽会・講演会により「新知見」を展開～

2024年4月9日  
石川九楊大全実行委員会

書家・石川九楊（いしかわ・きゅうよう）の大規模展覧会「石川九楊大全」が、2024年6月8日（土）より7月28日（日）まで、東京・上野の森美術館で開催されます。  
\*会期 前期：2024年6月8日（土）～6月30日（日） 後期：2024年7月3日（水）～7月28日（日） 休館日：7月1日、2日

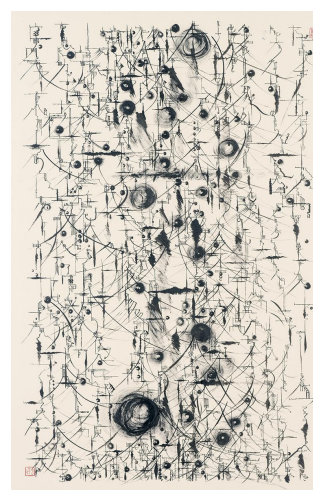
現代における書の美をひたすら追究し、言葉と格闘し続けてきた石川九楊の書作品2,000点から厳選した300点余を、前期・後期ひと月ごとに全て掛け替える大規模連続展覧会として、2ヶ月にわたり公開します。

「石川九楊大全」前期  
【古典篇】遠くまで行くんだ  
6月8日（土）～6月30日（日）



石川九楊 「遠くまで行くんだ」(1993年)95×62cm

「石川九楊大全」後期  
【状況篇】言葉は雨のようにふりそそいだ  
7月3日（水）～7月28日（日）



石川九楊 「言葉は雨のようにふりそそいだ」(2023年)95×60cm

また以下「石川九楊大全」関連イベントを開催します。

【音楽会】2024年6月14日（金）18:00 開演（会場：旧東京音楽学校奏楽堂）  
「書は音楽である」を立証するために企画されたコンサートです。書の美を形成する「筆蝕（ひっしょく）」を計測・解析・データ化し楽曲とした2曲を「電子音楽奏」と「弦楽四重奏」により演奏します。

【講演会】2024年7月7日（日）18:00 開演（会場：上野精養軒 桜の間）  
「書は文学」である——「筆蝕論」の総仕上げと位置付けられた自著『悪筆論』（芸術新聞社）を引用。川端康成、太宰治、三島由紀夫などの揮毫や原稿の書きぶりが、その文学作品をいかに雄弁に物語るか。秘密を解き明かします。

更に「石川九楊大全」展の開催にあたり、全作品を収録したカタログレゾネ（『石川九楊全作品集』思文閣出版）が完成、2024年夏より販売を開始します。既刊の『石川九楊著作集』全12巻（ミネルヴァ書房）に加えて、石川九楊全作品・全著作が網羅され、前期・後期の異なる2つの大規模展示とともに、総合的に石川九楊の書業をご覧いただける場となります。

皆様のご来場をお待ちしております。

■このリリースに関するお問い合わせ先：  
石川九楊実行委員会 加藤・小堀 [contact@ishikawakyuyoh-taizen.com](mailto:contact@ishikawakyuyoh-taizen.com)

## 【資料1】

### ■石川九楊（いしかわ・きゅうよう）プロフィール

書家。1945年福井県生まれ。京都大学法学部卒業。京都精華大学教授、文字文明研究所所長を経て、現在、京都精華大学名誉教授。「書は筆蝕の芸術である」ことを解き明かし、書の構造と歴史を読み解く。評論家としても活躍し、日本語論、日本文化論は各界にも大きな影響を与える。

作品制作・執筆活動、いずれの分野でも最前線の表現と論考を続け、現在までに書作品千点・著書百点以上を世に送り出した。

### ■「石川九楊大全」展覧会概要

会場 上野の森美術館 〒110-0007 東京都台東区上野公園 1-2

石川九楊大全 前期【古典篇】 遠くまで行くんだ  
会期 2024年6月8日（土）～6月30日（日）

既成の書的情緒を否定・拒絶してきた九楊が、なぜ古典文学に挑んだのか——。九楊にとって古典への挑戦は新たな領域への序章でもありました。代表作「歎異抄」「源氏物語」はじめ「李賀詩」「徒然草」「方丈記」「良寛詩」など日本・中国の古典文学を題材に、新たな表現の地平に挑んだ、壮大な「書の宇宙」を体感ください。

#### 前期【古典篇】の主な展示作品

- 「李賀詩 感諷（かんぼう）五首」連作5点 1992年、360×192cm
- 「源氏物語五十五帖」55点 2008年、59×99cm
- 「萬葉歌」2010年、60×95cm
- 「徒然草 No.22」1993年、95×62cm
- 「方丈記 No.7」1988年、31×51cm
- 「正信偈（しょうしんげ）」2019年、60×95cm 2019年、60×95cm

※主な前期【古典篇】展示作品画像と説明は、「石川九楊大全」公式サイトはこちら <https://ishikawakyuyoh-taizen.com/classic/> をご覧ください

石川九楊大全 後期【状況篇】 言葉は雨のように降りそそいだ  
会期 2024年7月3日（水）～7月28日（日）

書は「文字を書くのではなく、言葉を書く表現」である、と九楊は言います。聖書の言葉を題材にした若き日の代表作「エロイ・エロイ・ラマ・サバクタニ」およびその続編である85mにおよぶ超大作「エロイエロイラマサバクタニ又は死篇」や日本の現代詩、そして「忘れ去られた俳人」河東碧梧桐の句、さらには現代社会の混沌と病理をえぐる最新の自作詩など、九楊にとって不変のテーマである「言葉の表現」としての作品群を一挙に公開します。

#### 後期【状況篇】の主な展示作品

- 「エロイ・エロイ・ラマ・サバクタニ」1972年、270×341cm
- 「エロイエロイラマサバクタニ又は死篇」1980年、70×8500cm
- 谷川雁「おれは砲兵」1976年、68×86cm
- 「もしおれが死んだら世界は和解してくれと書いた詩人が逝った——追悼吉本隆明」2012年、60×95cm
- 「『ヨーロッパ』の戦争のさなかに」2023年、95×60cm
- 「河東碧梧桐一〇九句選」109点 2022年、24×34cm

※主な後期【状況篇】展示作品画像と説明は「石川九楊大全」公式サイトはこちら <https://ishikawakyuyoh-taizen.com/situation/> をご覧ください

「石川九楊大全」公式サイト <https://ishikawakyuyoh-taizen.com/>  
「石川九楊大全」PR サイト <https://www.artpr.jp/prs/ishikawakyuyoh-taizen2024>  
公式 Instagram [https://www.instagram.com/ishikawakyuyoh\\_taizen/](https://www.instagram.com/ishikawakyuyoh_taizen/)  
公式 x (旧 twitter) [https://twitter.com/kyuyoh\\_taizen](https://twitter.com/kyuyoh_taizen)

---

|     |   |
|-----|---|
| 主 催 | 石川九楊大全実行委員会<br>日本経済新聞社<br>上野の森美術館   |
| 協賛  | 株式会社思文閣<br>サントリーホールディングス株式会社<br>八海醸造株式会社<br>三洋化成工業株式会社<br>笠原健治 (株式会社 MIXI ファウンダー)<br>株式会社グラフィック<br>株式会社 SCREEN グラフィックソリューションズ<br>株式会社モリサワ<br>キンキダンボール株式会社<br>吉田浩一郎 (株式会社クラウドワークス)<br>株式会社サンエムカラー<br>大塚オーミ陶業株式会社<br>京都精華大学 |
| 協力  | 株式会社ほぼ日<br>株式会社竹尾<br>株式会社ミネルヴァ書房<br>株式会社左右社<br>市之倉さかづき美術館<br>文字文明研究所  |

---

「石川九楊大全」展覧会入場料 当日券 一般・大・高生 2,000 円 前売券 1,800 円

- 【古典篇】6月8日～6月30日【状況篇】7月3日～7月28日 それぞれに入場券が必要です
- お得な「セット券」 (2枚で3,000円。前売のみ・数量限定)

【販売先】

公式チケット ARTPASS <https://art-ap.passes.jp/user/e/ishikawakyuyoh-taizen>  
電子チケット「アソビュー！」 <https://www.asoview.com/channel/tickets/FbO1TMxSyD/>  
電子チケット「スマチケ」 <https://eplus.jp/ishikawakyuyoh-taizen-sumaticke/>

【各種プレイガイド】

※チケット・販売先・プレイガイド等の最新情報・詳細は「石川九楊大全」公式サイトはこちら  
<https://ishikawakyuyoh-taizen.com/tannisho-no18/> をご覧ください。

## 【資料2】

### ■「石川九楊大全」関連イベント

#### ◎音楽会

タイトル：「石川九楊大全」展 開催記念コンサート

書譜楽（しょふがく）「歎異抄 No.18 “いはんや悪人をや”」

日時：2024年6月14日（金）18:00 開演（17:30 開場）

会場：旧東京音楽学校奏楽堂 東京都台東区上野公演 8-43

演奏：電子音楽奏（スコット・アレン） 弦楽四重奏（カルテット・オリーブ）

書家・石川九楊の代表作『歎異抄 No.18』に書き込まれた一点一画を、計測・解析・数値化した音データを用いた楽曲を、「電子音楽奏」と「弦楽四重奏」により演奏します。

石川九楊とスコット・アレンによる解説付き「書は音楽である」を立証するコンサートです。

チケット：一般 3,000 円 学生 2,500 円（全席自由・税込）

予約サイト：

東京コンサーツ オンラインチケットサービス <https://www.confetti-web.com/detail.php?tid=76990&>

電話予約 0120-240-540 カンフェティチケットセンター（受付時間：平日 10:00～18:00）

お問い合わせ：03-3200-9755 東京コンサーツ（平日 10:00～18:00）

※チケット・販売先・プレイガイド等の最新情報・詳細は「石川九楊大全」公式サイトはこちら <https://ishikawakyuyoh-taizen.com/tannisho-no18/> をご覧ください。

#### ◎講演会

タイトル：「石川九楊大全」展 開催記念講演会 「書は文学である」

日時：2024年7月7日(日)18:00 開演 (17:30 開場)

会場：上野精養軒 桜の間

「筆蝕=書きぶり」を緻密にたどれば、「書は文学」であることが解る——「筆蝕論」の総仕上げと位置付けられた自著『悪筆論』（芸術新聞社）を引用。川端康成、太宰治、三島由紀夫などの揮毫や原稿の筆蝕の一点一画が、その文学作品をいかに雄弁に物語るか。秘密を解き明かします。

チケット 一般：2,000 円

【チケット取扱】チケットぴあ（Pコード 653-124）、ローソンチケット（Lコード 31934）、イープラス各販売サイトおよびプレイガイド、コンビニ店頭にてお求めください。

※チケット・販売先・プレイガイド等の最新情報・詳細は「石川九楊大全」公式サイトはこちら <https://ishikawakyuyoh-taizen.com/lecture/> をご覧ください。

#### ●カタログレゾネ 「石川九楊全作品集（全三冊 附別冊）」

若き日の実験的作品群から、日本・中国・西欧古典、そして時代を告発する現代の自作詩文作品にいたる、厳選した約 2000 点の作品を余すところなく紹介する全作品集は 2024 年夏出版予定です。

※限定 500 部 価格：200,000 円（税別）

※石川九楊の受賞歴、作品、作品集、著書、編著等プロフィール詳細は「石川九楊大全」公式サイトはこちら <https://ishikawakyuyoh-taizen.com/overview/> をご覧ください。

以上